

被災地、福島の復興再生に向けて

福島県 相双保健所 所長

堀切 将

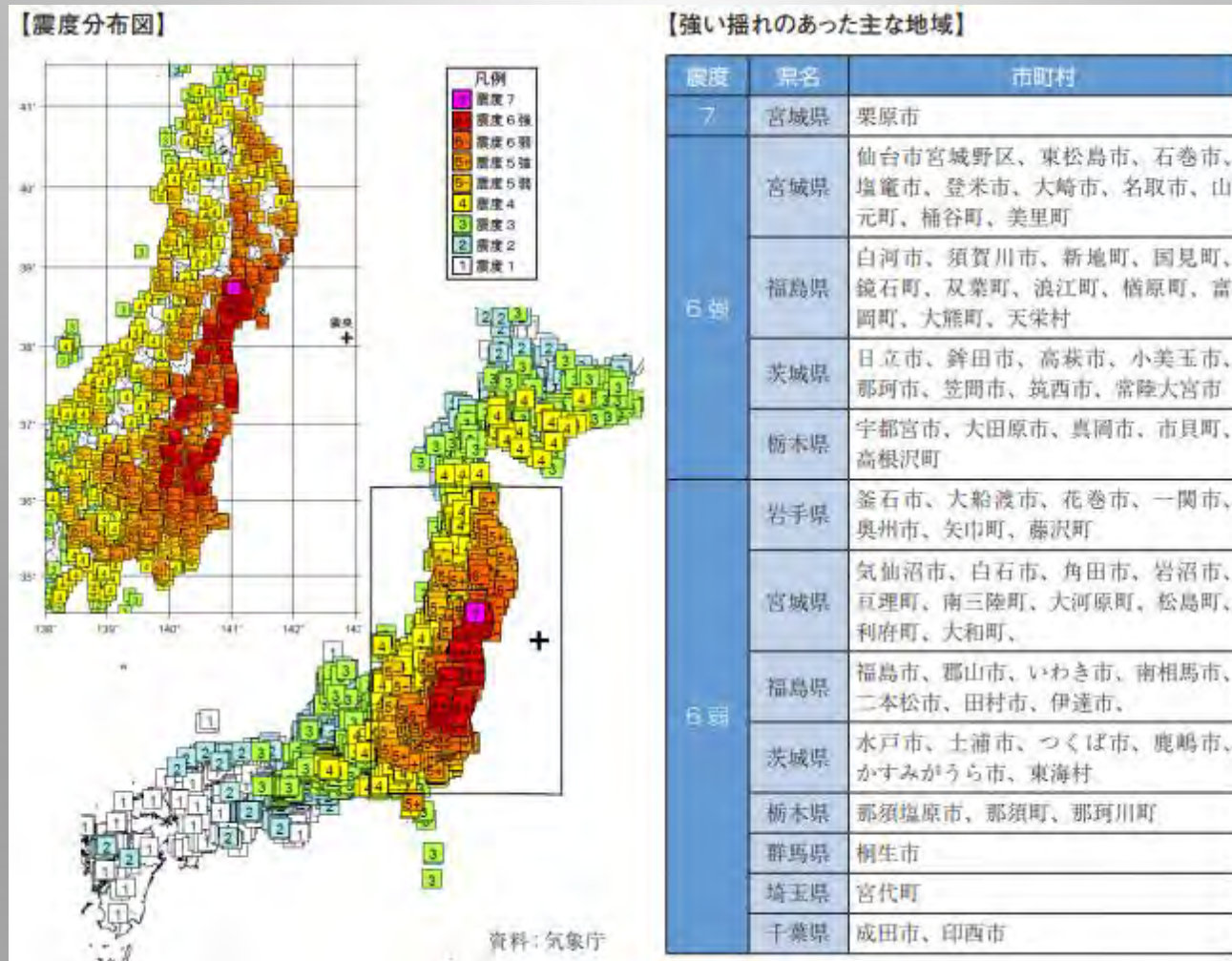
本日の内容

- ① 東日本大震災
- ② 復興における保健所の役割
 - 1) 震災への対応
 - 2) 被災者に対する支援事業

本日の内容

- ① 東日本大震災
- ② 復興における保健所の役割
 - 1) 震災への対応
 - 2) 被災者に対する支援事業

東日本大震災: 2011年(平成23年)3月11日



被害状況速報(第1報:平成23年3月11日15時30分)

平成23年3月11日 三陸沖地震による被害状況即報 (第1報)

平成23年3月11日(金) 15時30分現在
福島県災害対策本部

1 警報等発表状況

3月11日 14:46

震度6強: 白河市、須賀川市、二本松市、富岡町、大熊町、浪江町、鏡石町、楢葉町、双葉町、新地町

震度6弱: 郡山市、桑折町、国見町、川俣町、西郷村、矢吹町、中島村、玉川村、小野町、棚倉町、伊達市、広野町、浅川町、田村市、いわき市、川内村、飯舘村、相馬市、南相馬市、猪苗代町

震度5強: 福島市、大玉村、天栄村、泉崎村、矢祭町、平田村、石川町、本宮市、三春町、葛尾村、古殿町、会津若松市、会津坂下町、喜多方市、湯川村、会津美里町、磐梯町

その他県内全域で震度5弱～を観測

14:46 津波警報(大津波)発表

2 県・市町村の体制(災害対策本部等設置状況)

(1) 県

3月11日 14:46 災害対策本部設置

14:46 水防本部設置

14:46 警察本部災害警備本部設置

(2) 市町村

災害対策本部設置: 集計中 水防本部設置: 集計中

被害状況速報(第7報:平成23年3月11日22時)

4 被害の状況 詳細別紙

(1)人的被害

- ・死者 13人 (須賀川市1人、南相馬市5人、いわき市5人、富岡町2人)
- ・行方不明者 56人 (白河市14人、須賀川市8人、双葉町14人、楡葉町14人ほか)
- ・重傷者 1人 (大熊町1人)
- ・軽傷者 9人 (鏡石町1人、桑折町1人、双葉町1人、田村市4人ほか)

(2)住家被害 詳細別紙

- ・全壊 595棟 0世帯 8人
- ・半壊 13棟 0世帯 0人
- ・一部破損 80棟 0世帯 0人
- ・床上浸水 0棟 0世帯 0人
- ・床下浸水 0棟 0世帯 0人

(3)非住家

- ・公共建物 1棟(福島学院大(福島市瀬上) 2階つぶれ。)
- ・その他 調査中

5 消防職員の出勤延人数 集計中

- ・消防職員 人
- ・消防団員 人

6 その他

- (1)鉄道 東北新幹線全線運転見合わせ
県内在来線全線で運転見合わせ
- (2)一般道路
主要国道 国道4号ほか、18箇所で通行止め
一般国道 国道118号ほか、7箇所
- 県道 白河羽鳥線ほか、54箇所
- (3)高速道路 県内全線一般車両通行止め
- (4)その他
 - ・停電 県内30万軒
 - ・新常磐交通 全路線運休
 - ・相馬火力発電所内1,000人取り残されている

被害状況速報(第23報:平成23年3月12日16時)

4 被害の状況 詳細別紙

(1)人的被害

- ・死者 157 人 (南相馬市98人、相馬市19人、新地町13人、いわき市12人ほか)
- ・行方不明者 228 人 (南相馬市110人、新地町57人ほか)
- ・重傷者 123 人 (相馬市68人、南相馬市48人ほか)
- ・軽傷者 182 人 (相馬市67人、南相馬市48人ほか)

(2)住家被害 詳細別紙

- | | | | | |
|-------|----------------|---------------|----------------|---|
| ・全壊 | <u>894</u> 棟 | <u>33</u> 世帯 | <u>1,412</u> 人 | ※集計に含んでいないが
南相馬市で1,800棟が半
壊以上の損壊(状況調査
中) |
| ・半壊 | <u>187</u> 棟 | <u>34</u> 世帯 | 5 人 | |
| ・一部破損 | <u>1,554</u> 棟 | <u>501</u> 世帯 | 2 人 | |
| ・床上浸水 | 120 棟 | 0 世帯 | 0 人 | |
| ・床下浸水 | 0 棟 | 0 世帯 | 0 人 | |

(3)非住家 詳細別紙

- ・公共建物 249 棟 (福島学院大(福島市瀬上) 2階つぶれほか)
- ・その他 355 棟

5 消防職員の出動延人数

- ・消防職員 3,605 人
- ・消防団員 1,257 人

6 その他

- (1)鉄道 東北新幹線全線運転見合わせ
県内在来線全線で運転見合わせ

(2)一般道路 詳細別紙

- 主要国道 国道4号など 23箇所通行止め
- 一般国道 国道118号など 11箇所通行止め
- 県道 白河羽鳥線など 98箇所通行止め

- (3)高速道路 県内全線一般車両通行止め

(4)その他

- ・停電 中通り、浜通りの一部で175,098戸
- ・県内バス会社 高速バス路線など運転見合わせ
- ・相馬市日立木、原釜、磯部地区 建物屋根に20人取り残されるが、日立木2人、原釜3人救出
- ・相馬市松川浦大橋付近 1~2名孤立
- ・NTT回線 9,400回線不通(大熊町、楡葉町、飯舘村、新地町)

被害状況速報(第1000報:平成25年8月2日8時)

2 県・市町村の体制(災害対策本部等設置状況) ※詳細別紙(P.2)

- (1) 県 3月11日 災害対策本部設置、警察本部災害警備本部設置
(2) 市町村 災害対策本部設置:44市町村

3 避難の状況

県内への避難者数(8月1日 現在)	95,204 人	※詳細別紙(P.6)
県外への避難者数(7月4日 現在)	53,277 人	※詳細別紙(P.7)
避難先不明者	136 人	※詳細別紙(P.3)
合計	148,617 人	

4 被害の状況

(1) 人的被害 ※詳細別紙(P.4)

・死者	3,255 人	(南相馬市 1,060 人、相馬市 479 人、いわき市 446 人、浪江町 453 人、富岡町 199 人ほか)
・行方不明者	5 人	(須賀川市 1 人ほか)
・重傷者	20 人	(相馬市 4 人、いわき市 3 人ほか)
・軽傷者	162 人	(南相馬市 57 人、国見町 20 人ほか)

(2) 住家・非住家被害 ※詳細別紙(P.5)

住家	
・全壊	21,175 棟
・半壊	72,982 棟
・一部破損	166,617 棟
・床上浸水	1,061 棟
・床下浸水	338 棟
非住家	
・公共建物	1,117 棟
・その他	28,864 棟

5 消防職員の出動延人数

・消防職員	12,716 人
・消防団員	36,766 人

6 その他

(1) 鉄道

・常磐線 広野～原ノ町、相馬～亙理(復旧の見込み未定)

(2) 一般道路 ※詳細別紙(P.8.9)

- ・主要国道 国道6号 一部迂回路の利用を含め全線通行可(警戒区域は立入制限)
- ・一般国道 平成24年6月8日付けで全線通行可
- ・県道 大芦鹿島線など18箇所まで通行止め
- ・農林道 平成24年4月13日付けで全線通行可

(3) 高速道路

・常磐自動車道 広野IC～常磐富岡ICを除き県内全線通行可

(4) その他

- ・停電 浜通りの一部(津波被害地域、避難指示区域など立入困難地域)で12,640戸
- ・NTT回線 避難指示区域で11,300回線不通 ※特設公衆電話(無料)については平成24年3月27日に撤去
- ・水道 津波被害地域、避難指示区域など23,109戸で断水



震災直後の様子



津波で被災した老健施設
(平成 23 年 3 月 南相馬市)



津波で被災した老健施設
(平成 23 年 3 月 南相馬市)



震災直後の所内の様子
(平成 23 年 3 月 相双保健福祉事務所内)



震災直後の屋外の様子
(平成 23 年 3 月 相双保健福祉事務所前)

とみおかアーカイブ

震災までの、 地域と原子力発電所

State of the Region and Nuclear Power Plants Until the Earthquake

富岡町は原子力発電所の誘致以来、電源開発の町として発展してきました。発電所は、関連産業も含めると地域雇用にも大きな貢献を果たし、エネルギー開発に関する教育もこの地域の特徴として、積極的に小中学校で行われてきました。

また、発電所の広報施設では様々なイベントが企画されるなど、子どもたちが集う場としても利用され、地域に身近な発電所を目指してきました。

地域の人々の生活と身近にあった発電所でしたが、平成23年(2011)3月11日の東日本大震災と原発事故は、この地域を大きく変えてしまいました。

Since the introduction of nuclear power, Tomioka has developed as a source of electrical power. The power plant has, along with related industries, made a tremendous contribution to regional employment. In fact, energy development education is one of the town's highlights, and is actively being taught in primary and middle schools. In addition, the power plant's PR group plans many events, where children in the town get together. The power plant is close with the region, and supports its revitalization in many different ways.



富岡町の紹介パネル

11.03
まず出稼き者がなくなったってことだね。普通は出稼ぎに行っ
て、ボソッと正月帰ってくる。で、東
の原発やっつて、また出稼ぎに出るって
いう、それが全然なくなった。

(HP: 東電)

福島第二原子力発電所

運転開始	出力
1号機	1,100MW
2号機	1,100MW
3号機	1,100MW
4号機	1,100MW
5号機	1,100MW
6号機	1,100MW
7号機	1,100MW
8号機	1,100MW
9号機	1,100MW
10号機	1,100MW
11号機	1,100MW
12号機	1,100MW
13号機	1,100MW
14号機	1,100MW
15号機	1,100MW
16号機	1,100MW
17号機	1,100MW
18号機	1,100MW
19号機	1,100MW
20号機	1,100MW
21号機	1,100MW
22号機	1,100MW
23号機	1,100MW
24号機	1,100MW
25号機	1,100MW
26号機	1,100MW
27号機	1,100MW
28号機	1,100MW
29号機	1,100MW
30号機	1,100MW
31号機	1,100MW
32号機	1,100MW
33号機	1,100MW
34号機	1,100MW
35号機	1,100MW
36号機	1,100MW
37号機	1,100MW
38号機	1,100MW
39号機	1,100MW
40号機	1,100MW
41号機	1,100MW
42号機	1,100MW
43号機	1,100MW
44号機	1,100MW
45号機	1,100MW
46号機	1,100MW
47号機	1,100MW
48号機	1,100MW
49号機	1,100MW
50号機	1,100MW
51号機	1,100MW
52号機	1,100MW
53号機	1,100MW
54号機	1,100MW
55号機	1,100MW
56号機	1,100MW
57号機	1,100MW
58号機	1,100MW
59号機	1,100MW
60号機	1,100MW
61号機	1,100MW
62号機	1,100MW
63号機	1,100MW
64号機	1,100MW
65号機	1,100MW
66号機	1,100MW
67号機	1,100MW
68号機	1,100MW
69号機	1,100MW
70号機	1,100MW
71号機	1,100MW
72号機	1,100MW
73号機	1,100MW
74号機	1,100MW
75号機	1,100MW
76号機	1,100MW
77号機	1,100MW
78号機	1,100MW
79号機	1,100MW
80号機	1,100MW
81号機	1,100MW
82号機	1,100MW
83号機	1,100MW
84号機	1,100MW
85号機	1,100MW
86号機	1,100MW
87号機	1,100MW
88号機	1,100MW
89号機	1,100MW
90号機	1,100MW
91号機	1,100MW
92号機	1,100MW
93号機	1,100MW
94号機	1,100MW
95号機	1,100MW
96号機	1,100MW
97号機	1,100MW
98号機	1,100MW
99号機	1,100MW
100号機	1,100MW

富岡町での
合計出力 **220万kW**

当時の時計



避難者の日記

みんな、おかえにきて、でも、
わたしのお母さんは、おかえか
おそくて、しんは、いでした。
でも、 ちゃんが、おかえに
きて、すこしおんしんしました。
でも、いえにかえたら、
お母さんお、お父さんと ちゃんが
車の中にいたのでびっくりしました。
そして、その夜は、車の中ですご
し、パンケーキ、ハラミにたべて
ぬました。とてもすまして、いしん
かどまとき ~~な~~りました。おかげ
あさになり3月11日はお ました。
わ

ホテルルートイングループ

3月11日に、ひるまに、だいいしんか
おこりました。
最初は、ふつうのいしんかなと思、
たけれど、だんだんおおきくなり、
すごくゆれました。少しおさまる
まどを、あけ、まだゆれていました。
わたしは、うまれて、はじめて、
こんな、大きないしんをかんじ
たのは、初めてでした。
テレビは、すごくゆれ、もう
あちるかと思、いました。
けりルヤ、プリントなど、すごく
い、は、いおちました。

平成23年

ホテルルートイングループ

だいいめい
とうほく
かんとう
東北、関東
大震
だいいしん
名前

津波に流されたパトカー(警官2名が殉職)



福島第一、第二原子力発電所



福島第一原子力発電所1、3、4号機の水素爆発

15:36 1号機原子炉建屋水素爆発



3/12

11:01 3号機原子炉建屋水素爆発



3/14



6:14 頃 4号機原子炉建屋水素爆発

3/15

本日の内容

- ① 東日本大震災
- ② 復興における保健所の役割
 - 1) 震災への対応
 - 2) 被災者に対する支援事業

本日の内容

- ① 東日本大震災
- ② 復興における保健所の役割
 - 1) 震災への対応
 - 2) 被災者に対する支援事業

震災への対応

- ① 原子力災害現地対策本部(オフサイトセンター:OFC)への要員派遣
- ② 緊急被ばくスクリーニング
- ③ 医療機関の復旧活動支援
- ④ 避難所等における心身の健康管理
- ⑤ 避難所等における感染症対策
- ⑥ 避難所等において使用する医薬品等の供給支援
- ⑦ 避難所等における食品衛生指導
- ⑧ 生活保護受給者への支援
- ⑨ 放射能汚染に係る水、食品等の安全性の確保
- ⑩ 被災ペットの保護活動
- ⑪ 環境衛生関係業務への対応
- ⑫ いわき地域への避難者の健康支援活動

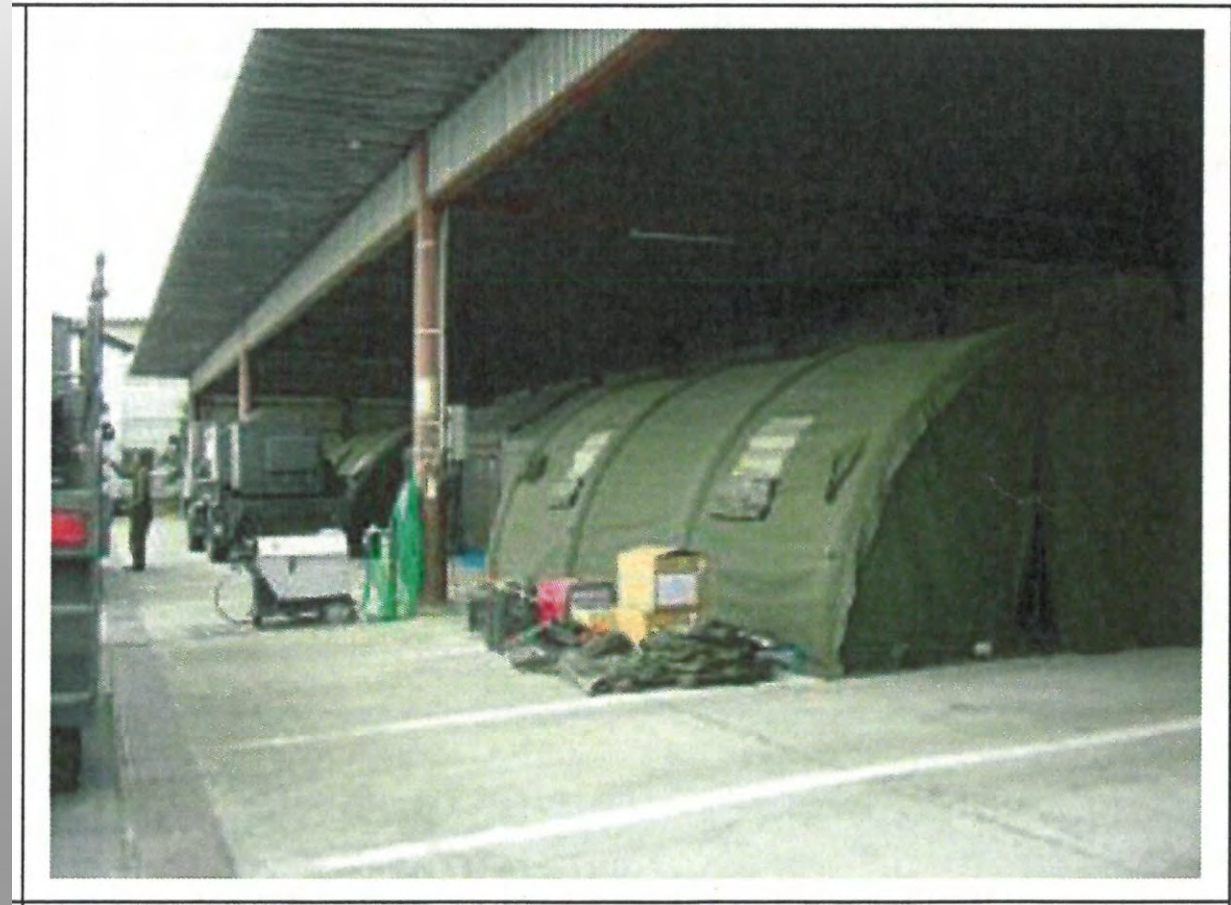
- 1 緊急被ばくスクリーニング
- 2 医療機関の復旧活動支援
- 3 被災ペットの保護活動

震災への対応

- ① 原子力災害現地対策本部(オフサイトセンター:OFC)への要員派遣
- ② 緊急被ばくスクリーニング
- ③ 医療機関の復旧活動支援
- ④ 避難所等における心身の健康管理
- ⑤ 避難所等における感染症対策
- ⑥ 避難所等において使用する医薬品等の供給支援
- ⑦ 避難所等における食品衛生指導
- ⑧ 生活保護受給者への支援
- ⑨ 放射能汚染に係る水、食品等の安全性の確保
- ⑩ 被災ペットの保護活動
- ⑪ 環境衛生関係業務への対応
- ⑫ いわき地域への避難者の健康支援活動

本日の内容

- ① 東日本大震災
- ② 復興における保健所の役割
 - 1) 震災への対応
 - 1 緊急被ばくスクリーニング
 - 2 医療機関の復旧活動支援
 - 3 被災ペットの保護活動
 - 2) 被災者に対する支援事業



緊急被ばくスクリーニング

- 活動の経過

3月12日 施設入所者の避難に対応するためのスクリーニング開始(8名)

3月15日 避難先に受け入れ拒否されたため、スクリーニング結果表の発行を開始

3月18日 避難バスも含めたスクリーニング開始

平成25年6月30日 国によるスクリーニング場の整備に伴い、当所における対応を終了

緊急被ばくスクリーニング

- 活動の内容

緊急被ばくスクリーニング

3月12日 地域住民の放射性物質汚染の有無や被ばく線量を測定

3月14日 自力避難不可能な人のスクリーニング、避難車両の乗り換え等の介助

スクリーニングの対象は、住民、手荷物、車両、ペットに及んだ

災害健康相談

一般住民からの放射線の身体への影響に関する訴えや不安などの相談に対応

緊急被ばくスクリーニング

- 実績

緊急被ばくスクリーニング

平成23年3月12日～平成26年6月30日(829日間)

スクリーニング総人数:82464人

うち部分除染対象者が58人、全身除染対象者が3人

災害健康相談

平成23年3月～平成25年3月

来所79件、電話637件

緊急被ばくスクリーニング



案内板の状況
(平成 23 年 3 月 合庁入口)



スクリーニングの状況
(平成 23 年 3 月 相双保健福祉事務所前)



スクリーニングの状況
(平成 23 年 3 月 相双保健福祉事務所玄関内)



除染場の状況
(平成 23 年 3 月 合庁西側車庫前)

本日の内容

- ① 東日本大震災
- ② 復興における保健所の役割
 - 1) 震災への対応
 - 1 緊急被ばくスクリーニング
 - 2 医療機関の復旧活動支援
 - 3 被災ペットの保護活動
 - 2) 被災者に対する支援事業



医療機関の復旧活動支援

- 活動の経過

3月11日 医療機関の被災状況の把握と支援(電話および現場確認)の実施

3月18日 厚労省が福島第一原発から20～30キロ圏内の入院患者の県外搬送を決定

3月22日 搬送終了

4月4日 南相馬市内の精神科を除き、外来診療再開

4月11日 入院診療の一部再開

10月7日 厚生労働省相双地域医療従事者確保支援センターの設置

医療機関の復旧活動支援

- 活動内容

発災直後

管内の医療機関の状況確認、被害の大きな病院からの転院調整

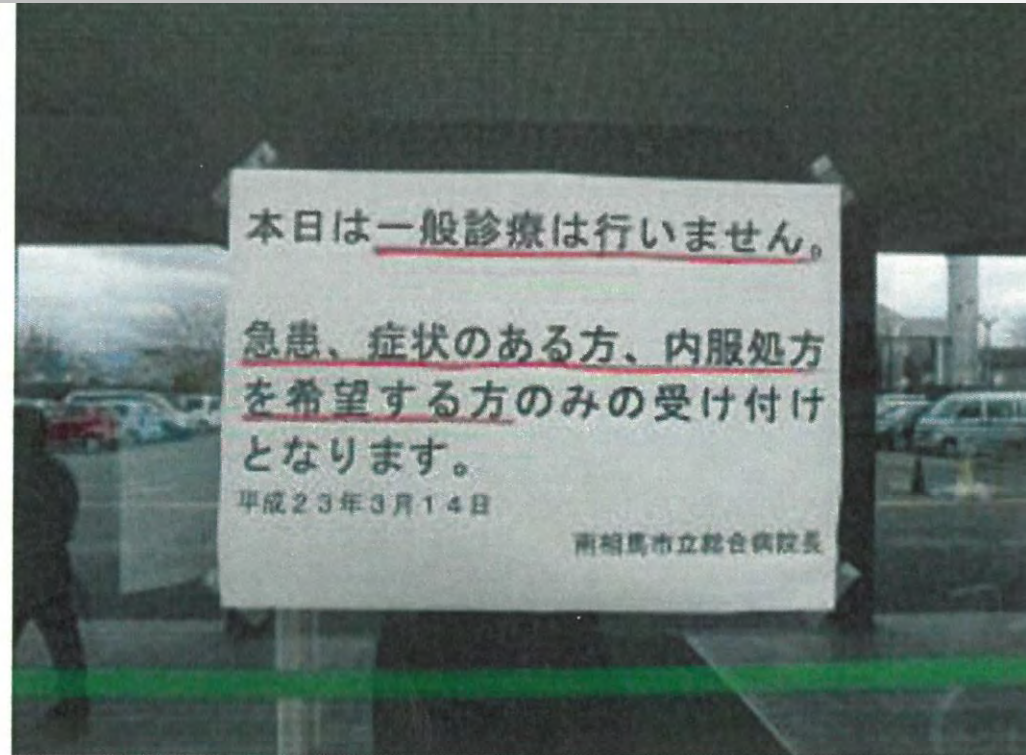
緊急時避難準備区域の指定まで(～4月22日)

屋内退避の解除を受けた医療機関と入院再開の日時の調整

緊急時避難準備区解除(9月30日)以降

現状把握、医師・看護師確保支援業務

医療機関の復旧活動支援



玄関前の案内の状況
(平成 23 年 3 月 南相馬市立総合病院)



相馬郡医師会臨時診療所の状況
(平成 23 年 3 月 鹿島厚生病院)

本日の内容

- ① 東日本大震災
- ② 復興における保健所の役割
 - 1) 震災への対応
 - 1 緊急被ばくスクリーニング
 - 2 医療機関の復旧活動支援
 - 3 **被災ペットの保護活動**
 - 2) 被災者に対する支援事業



被災ペットの保護活動

- 活動内容

避難に伴う犬・猫の飼育用物資及び餌の配布などの支援活動

被災者に対して餌の配布やケージの貸出、適正飼養の助言などを行った

一時立ち入りに伴う被災ペットの保護及びスクリーニング

当初、被災者のペットの持ち出しは禁止→被災ペットの保護

持ち出し解除後→放射性物質スクリーニングの実施

警戒区域内における被災ペットの保護活動

放置犬の確認作業、保護活動、動物病院への被災ペットの収容、治療依頼

被災ペットの保護活動



被災動物保護のための巡回
(平成 23 年 10 月 双葉町)



被災動物の保護
(平成 23 年 5 月 富岡町)

本日の内容

- ① 東日本大震災
- ② 復興における保健所の役割
 - 1) 震災への対応
 - 2) 被災者に対する支援事業



被災者に対する支援事業

- ① 市町村との打合せ・ケア会議・要保護児童対策協議会(震災後～)
- ② 市町村との連絡会の開催(H25年度)
- ③ 保健事業担当者会議の開催(H26年度～)
- ④ 復興公営住宅入居者支援実務者会議の開催(H26年度～)
- ⑤ 介護予防事業実務者会議の開催(H27年度)
- ⑥ 母子保健検討会の開催(H29年度～)H28年度までは、③と併せて実施
- ⑦ 被災した障がい児・者支援関係者会議の開催(H25年度～)

- 1 被災者に対する健康支援
- 2 被災者の心のケア事業
- 3 母子保健対策の推進

本日の内容

- ① 東日本大震災
- ② 復興における保健所の役割
 - 1) 震災への対応
 - 2) 被災者に対する支援事業
 - 1 被災者に対する健康支援
 - 2 被災者の心のケア事業
 - 3 母子保健対策の推進



1 被災者に対する健康支援

- 特定健康診査・特定保健指導

避難者における肥満、高脂血症等の健康データの悪化（避難による、生活環境変化・ストレス）

→生活習慣病予備軍の増加

避難先であるいわき地域において生活習慣病や生活不活発病の予防が実施できるよう、

平成26年度から特定健康診査を受けた40歳～74歳の方について、

動機付け及び積極的支援が必要な方へ家庭訪問または電話指導等により特定保健指導を実施

1 被災者に対する健康支援

- 復興公営住宅等入居者への支援

団地名	世帯数	人数	高齢者数 (65歳以上)	高齢化率	障がい者数
下神白	196	322	196	60.9	18
湯長谷	48	83	35	42.2	6
八幡小路	12	20	12	60.0	1
家ノ前	53	76	23	30.3	3
関船	27	43	23	53.5	4
宮沢	56	92	31	33.7	0
計	392	636	113	50.3	32

平成28年現在

1 被災者に対する健康支援

- 復興公営住宅等入居者への支援

毎週火曜日 10:30～

会場準備 カフェの準備とともにマスター、ボランティアが体操用いす、会場準備

10:00～ 希望者に**血圧測定**、注意等のポスター掲示(出張所職員→自治会役員)

10:30～ カフェ利用者に声をかけ、**体操**の開始(出張所職員→自治会役員)

11:00 体操終了、片付け(参加者)

* 10人～23人参加(47歳～88歳)

1 被災者に対する健康支援

- 復興公営住宅等入居者への支援



1 被災者に対する健康支援

- 特定保健指導の実績

	区分	南相馬市	檜葉町	双葉町	浪江町	計
平成27年	情報提供	0	—	0	3	3
	動機付け支援	1	—	8	14	23
平成28年	情報提供	4	—	25	0	29
	動機付け支援	1	—	18	19	38
平成29年	動機付け支援	1	—	19	19	39
	積極的支援	0	—	8	5	13
平成30年	動機付け支援	—	—	6	6	12
	積極的支援	—	—	4	5	9
平成31年 (令和元年)	動機付け支援	—	7	8	10	25
	積極的支援	—	7	6	4	17
令和2年	動機付け支援	—	5	9	4	18
	積極的支援	—	3	4	4	11

1 被災者に対する健康支援

- 特定保健指導の実際



糖尿病教室 2021.3



パン1個糖質何g? 2021.3

本日の内容

- ① 東日本大震災
- ② 復興における保健所の役割
 - 1) 震災への対応
 - 2) 被災者に対する支援事業
 - 1 被災者に対する健康支援
 - 2 被災者の心のケア事業
 - 3 母子保健対策の推進

2 被災者の心のケア事業

- 活動内容

地域の精神保健活動拠点として、平成24年4月に設置された「ふくしま心のケアセンターいわき方部センター」と連携し、

被災者のPTSD(心的外傷後ストレス障害)や、うつ病、アルコール問題等の、心の問題に対応するため、同行訪問等を行う

2 被災者の心のケア事業

- 実績

年度	実績
平成24年度	仮設住宅等の巡回支援 延べ962人
平成25年度	同行訪問 延べ256人
平成26年度	同行訪問 延べ103人
平成27年度	同行訪問 延べ39人
平成28年度	同行訪問 延べ97人
平成29年度	同行訪問 延べ19人
平成30年度	同行訪問 延べ8人
令和元年度	同行訪問 延べ5人
令和2年度	同行訪問 延べ19人

2 被災者の心のケア事業

- 支援者のための事例検討会、スキルアップ研修

年度	研修会実施回数	主な内容
平成25年度	43回	グループミーティング、リラクゼーション、研修、個別相談を組み合わせ実施
平成26年度	2回	支援者支援研修:面接のコツ、メンタルヘルス
平成27年度	1回	支援者支援研修:現状と今後の被災者支援
平成28年度	1回	支援者支援研修:希死念慮を訴える方への対応
平成29年度	4回	支援者支援研修:自殺予防と支援者の心のケア グループミーティングの実施

2 被災者の心のケア事業

- 課題

長期間にわたり復興関連業務に関わっている関係職員のメンタルヘルスや被災者支援に携わるなかで被災者の孤独死や自殺に遭遇した際などの支援者自身のメンタルヘルスに対応した研修や専門的な相談支援等、ふくしま心のケアセンターと連携しながら支援者支援を継続していく必要がある

本日の内容

- ① 東日本大震災
- ② 復興における保健所の役割
 - 1) 震災への対応
 - 2) 被災者に対する支援事業
 - 1 被災者に対する健康支援
 - 2 被災者の心のケア事業
 - 3 **母子保健対策の推進**



3 母子保健対策の推進

- 子ども健やか訪問事業

震災により避難生活を余儀なくされている子どもを持つ家庭を訪問し、心身の健康に関する相談や生活・育児に関する相談等に対応することにより、子育て家庭の不安の軽減を図ることを目的に、平成26年から実施

3 母子保健対策の推進

- ・ 子ども健やか訪問事業の実施対象

年度	実施市町村、対象年齢
平成26年	南相馬市、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町(1歳、4歳、小学1年生)
平成27年	南相馬市、富岡町、浪江町 (1歳、4歳、小学1年生)
平成28年	南相馬市、富岡町、双葉町、浪江町、葛尾村 (1歳、4歳、小学1年生)
平成29年	南相馬市、富岡町、大熊町、浪江町 (1歳)
平成30年	南相馬市、富岡町、大熊町、浪江町 (1歳、4歳、継続支援が必要な児)
平成31年 (令和元年)	南相馬市、富岡町、浪江町 (1歳、4歳、継続支援が必要な児)
令和2年	南相馬市、富岡町、大熊町、浪江町 (1歳、4歳、継続支援が必要な児)

3 母子保健対策の推進

- 子ども健やか訪問事業の実績

	対象児数	訪問実数(訪問延数)	実施率(%)
平成26年	379	269 (276)	71
平成27年	237	157 (166)	66
平成28年	269	171 (177)	64
平成29年	124	97 (98)	78
平成30年	158	87 (95)	55
平成31年(令和元年)	142	84 (86)	59
令和2年	127	38 (38)	30

3 母子保健対策の推進

- 子ども健やか訪問事業の活動内容
 - ① 育児や児童の心身の健康に関する不安や悩みの傾聴
 - ② 生活や育児に関する必要な援助
 - ③ 子育て支援に関する情報提供、専門の支援機関の紹介
 - ④ 児童や保護者の心身の様子や養育環境の把握
 - ⑤ 支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整

3 母子保健対策の推進

- 子ども健やか訪問事業の活動内容
 - ① 育児や児童の心身の健康に関する不安や悩みの傾聴
 - ② 生活や育児に関する必要な援助
 - ③ 子育て支援に関する情報提供、専門の支援機関の紹介
 - ④ 児童や保護者の心身の様子や養育環境の把握
 - ⑤ **支援が必要な家庭**に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整

3 母子保健対策の推進

- 相双地域あそびの教室

震災前は双葉郡各町村において同様の教室が実施されていたが、震災により実施困難となった。双葉郡各町村からいわき市への避難者は多数おり、

発達のゆっくりなお子さんや乳幼児健診後に要経過観察となったお子さんの経過観察を行う場が必要なことから、平成24年度より事業を開始した。

令和2年度からは、当所及び南相馬市、双葉郡各町村との共同実施として連携を図りながら開催している。

3 母子保健対策の推進

- 相双地域あそびの教室の内容

発達に遅れやその心配がある幼児の保護者に対してグループミーティングを実施して幼児の発達特性や対応方法の理解を促し、不安の軽減を図るとともに、あそびを通して幼児の発達状況を確認し、必要に応じて療育機関等へつなぐことを目的として実施している。

保護者に対して、グループミーティングを通して相談、助言を行い、あそびを通して、幼児の発達状況の確認を行う。

担当職員：臨床心理士、保育士、保健師及び児童精神科医（令和元年度まで）

実施方法：年に10回程度（5月～翌年2月まで月1回、同日に2回開催）の開催

3 母子保健対策の推進

- 相双地域あそびの教室の実績

年度	開催回数	幼児	保護者	計 (幼児、保護者参加者数)
H24	6	16		
H25	10	42	45	87
H26	10	68	62	130
H27	10	58	56	114
H28	10	56	48	104
H29	10	47	38	85
H30	10	110	89	199
R1	8	76	72	148
R2	12	53	47	100

3 母子保健対策の推進

- あそびの教室の実際



2018.10

ご清聴ありがとうございました



相馬野馬追 2022/07/23～24